

## チーム横田、重大事故即応演習を実施 Team Yokota conducts annual MARE

February 21, 2023

By Yasuo Osakabe  
374th Airlift Wing Public Affairs

2月16日、チーム横田は横田基地内において「重大事故即応演習 (MARE)」を実施した。同演習は基地全体があらゆる緊急事態に対処できるように備える目的で行われ、今年開催予定の友好祭の前にも行われる予定である。

第374空輸航空団安全部飛行安全主任アレックス・ランダー大尉は、「MAREの目的は、万が一の事故に基地全体が備えるものだ」と述べ、「全ての初動対応要員と関係機関の準備ができていることを確かめるものである」と説明した。



今回のMAREのシナリオでは、C-12ヒューロンの墜落を想定し、厳しい状況下での基地の対処能力を実証した。

「今日の練習を通じ、消火活動、医療処置、燃料漏れ清掃、燃料サンプリング、安全調査委員会の立ち上げ、証拠保護を練習する」とランダー大尉は述べた。

現実的なシナリオに基づいて行うことで、幹部が、万が一事故が発生した際の人員や資源の準備態勢を前もって把握するのに役立つ。

ランダー大尉は、「地元の航空機も絡んだシナリオを作成し、基地内の全機関が、実際に起きた時と同様にチェックリストを確認して行動するようにした」と述べ、「事故が起きることは稀で、今日練習したようなシナリオが実際に起こることはないだろうが、しっかりと訓練しておくことで、あらゆる不測の事態にも対応できるようになる」と言及した。

チーム横田は、模擬の緊急事態への対処を行った後、シナリオを仮想の安全委員会に移行し、調査を始めるシミュレーションを行った。

「いかなる事故に直面しようと、確実に対応できるように万全を期している」とランダー大尉はコメントした。